

かさま 市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体などを紹介します。

ボランティアサークル 配食みちくさ

代表者 笹嶋 秀介(平町)
設立 平成7年4月
会員 70人



会員の皆さん



包丁使いもなれたものです。



盛り付けです。毎回約130食分作ります。



笹嶋秀介さん(会長)より

団塊世代の自立した 福祉ボランティア

友部地区の一人暮らしの高齢者に月2回、手作り弁当(100円)をサービスする男性だけのボランティアグループ「配食みちくさ」。メンバーは、定年退職した人がほとんどで「過去の経験は問わず^{しんしん}真摯な気持ちで取り組む」「作った料理は家でも実践してみる」がモットー。小中学生の福祉体験の指導、親子ふれあい体験の指導、24時間チャリティーの参加など配食以外にもさまざまな活動をしています。昨年、男性が行うボランティア活動の先駆的な団体として、県から「^{ひとひと}男と女ハーモニー功労賞」を受賞しました。

私たちは、平成7年度から男性のみによるボランティア活動を開始し、平成11年から配食サービスを始めました。昨年、活動10周年と毎月発行している「みちくさ通信」の100号を記念して「配食みちくさのあゆみ」を発刊しました。男性による料理の研究等を行い、これからも男性の自立した活動団体として配食を続けていきます。この活動に興味のある男性の方、一緒に活動してみませんか。



できたてのお弁当を届けるまでが仕事。喜んでもらえるのが励みになります。



栄養バランスを考えた献立です。毎回のお弁当につける献立表も手書きです。